



新年度のご挨拶

目黒区長 青木 英二様

社会福祉法人もえぎの会の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。もえぎの会広報誌「萌木」のご発行に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

もえぎの会は、長年にわたって障害者への支援活動を続けられ、目黒区の障害福祉の発展に多大なる貢献をされてこられました。また、近年では、より広い支援の基盤づくりに向けた後援会の設立、グループホーム「沙羅の家」の開設など、将来を見据えて次々に事業展開されているとお聞きし、その積極的な取り組み姿勢に敬服いたしております。

さて昨年は、障害者自立支援法の施行により、障害福祉を取り巻く状況が大きく変化しました。規制緩和等により新たな取り組みが行いやすくなった一方で、定率負担制度や施設利用の日割り制などが導入され、現在でも様々なご意見が寄せられているところです。国は、皆様からの様々な意見に丁寧に対応するため、昨年末に、利用者負担のさらなる軽減や事業者に対する激変緩和措置など3つの柱からなるもう一段の改善策を発表いたしました。

区は、この改善策への対応を含め、平成19年度を法の柱である「地域生活への移行」「一般就労への移行」の取り組みを展開する年と位置付け、新たに策定しました障害福祉計画に基づいて、サービスの充実と基盤の整備に向けさらに取り組みを強化してまいりたいと存じます。そのためには、もえぎの会をはじめとする事業者、障害者団体、地域住民、関係機関等と区行政が、これまで以上に連携・協力を深めつつ障害者支援に取り組むことが大切です。区といたしましては、これまで以上に障害福祉の拡充に向けて取り組んでまいりますので、どうか今後とも皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

最後に、目黒区における障害福祉の中核法人として、もえぎの会の活動がますます発展されることをご期待申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。



2007年度「もえぎの会」の計画

3月13日に、評議員会、理事会が開催され、2007年度の事業計画、予算が審議され、承認されましたので、概要を報告します。

1. 事業計画

(1) 重点課題

- ① 新体制2年目を迎え、サービスの向上を目指し、新事業の担い手となる人材を育成する。
- ② 障害者自立支援法に対応するために、新体系移行検討委員会を設置する。
- ③ 行政や関係団体、区内の事業者と連携し、総合的な支援を提供する。
- ④ 後援会、家族会と連携し、地域に根ざし、地域に貢献できるような活動をする。

(2) 「沙羅の家」事業計画

- ① 利用者を定員の6名にする。
- ② 6名利用で安定した運営体制にする。

(3) 「しいの実社」事業計画

- ① 自立支援法に対応できる運営を目指し、常に社員(利用者)のニーズを取入れ、随時サービスを構築する。よりよい支援をするために担当制を導入する。
- ② 土曜日開所を工夫し、仕事以外に、余暇活動に充当する。その中で、地域とのつながりを深めるために、地域のお店、施設を利用する企画をする。
- ③ 授産事業の売上目標を2,000万円とする。(前年比約10%増)
 - 委託業務を、事務補助、軽作業などへ拡大すべく、開拓する。
 - 贈答セットの充実、チラシの活用、店内装飾、ネット受注などの工夫をする。
 - 後援会と連携して、販売先の開拓をする。
- ⑤ 働く意欲をもつ社員には、後援会や地域の協力を得て、実習に挑戦する。目黒区就労支援センターやハローワーク、区内授産施設等と協力して進める。
- ⑥ 障害者が、地域で生活するために、地域活動への参加、ボランティア受入れ、イベントへの出店、しいの実祭の開催を実行する。
- ⑦ サービスの向上に向けて、第三者評価を実施する。そのために、記録の整備、業務マニュアルの改善を推進する。

	法人合計			本部			しいの実社			沙羅の家		
	2007	2006	2005	2007	2006	2005	2007	2006	2005	2007	2006	2005
	予算	予算	実績	予算	予算	実績	予算	予算	実績	予算	予算	実績
授産事業収入	20,350	17,650	16,388				20,350	17,650	16,388			
授産事業支出	20,350	17,648	15,192				20,350	17,648	15,192			
授産事業収支	0	2	1,196				0	2	1,196			
福祉事業収入	118,147	98,145	105,889	2,500	2,100	170	93,487	87,994	103,719	22,160	8,051	2,000
福祉事業支出	100,275	98,409	91,219	2,460	1,955	1,641	84,205	83,832	87,742	13,610	12,622	1,836
福祉事業収支	17,872	-264	14,670	40	145	(1,471)	9,282	4,162	15,977	8,550	-4,571	164

第5回しいの実祭のご報告

去る11月25日(土)にしいの実社に於いて、「第5回しいの実祭」が開催されました。前日までは天候が危ぶまれましたが、当日は天気にも恵まれ、青木目黒区長をはじめ、多くの来賓にもお来いただきました。

今回はいままで以上に地域の方の来場が多く、これもしいの実社が一段と地域の中で認識されてきたことの表れではないかと思えます。

祭には、地元清水町会の皆さんに焼きそばやフランクフルトの模擬店を出店していただいたり、でかばっぐ・東京体育専門学校の方に、人形劇やしいの実社で普段行っていた「すわろびくす(イスに座って音楽にあわせてのエクササイズ)」などをご披露いただきました。

また、後援会の方々よりご寄付いただきました品々により、駐車場においてバザーを開催させていただき、売上をしいの実社に寄付いただきました。

ご来場を頂きました来賓の方々をはじめ地域の方々、各イベントお手伝いいただいたボランティアの方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



当日は多くの来場者でにぎわいました



祭が一段落してのおたのしみの打ち上げ



青木区長とのツーショット

織物セール

1月27日(土)、28日(日)に、しいの実社1階のSHOP、手づくりのお店で『手織り製品冬物SALE』を行ないました。しいの実社のお店を土日に営業したこと、織物とクラフトの製品だけを並べて営業したこと、織物製品のセールを行なったこと、すべてはじめての試みでした。

なるべく多くのお客様に来ていただくために、区の掲示板にポスターを貼らせていただいたり、チラシの掲示や配布をさせて頂いたり、各販売やお店でチラシの配布を行なったりの宣伝活動も行ないました。

両日とも天候に恵まれ2日間で来客者数は約150人、売上は約47万円でした。販売に参加した社員(しいの実社の利用者のこと)からは「楽しかった」「買って来て良かったあと思った」「大変だけどがんばった」と感想を語ってくれました。

地域の皆様や後援会の皆様との交流の場になり、社員には、やりがいや励みになりました。その結果として、お客様に喜んでいただいたことで、また、がんばろうとみんなで誓いました。



後援会より

ようこそ！朝赤龍関！！



朝赤龍

昨年12月22日、しいの実社に朝赤龍関をお迎えし、和やかで楽しいひと時を過ごしました。もえぎの会後援会の清水美知雄会長が関取の後援をしておられる関係で、織物工房で製作した陣羽織を贈呈し、しいの実社の作業も見学してもらいました。贈呈式の後、社員の質問に丁寧に答えて頂き、一人ひとりにサイン色紙も頂きました。

社員の感想です：「大きくて強そうだった」

「星取表を見てテレビで応援したくなった」

「大きかった。がんばって欲しい」

「本当に140キロあるの？」



朝赤龍 太郎（あさせきりゆうたろう）

所属部屋：高砂部屋

本名：パダルチ・ダシニヤム

生年月日：昭和56年8月7日

出身地：モンゴル・ウランバートル

身長：184.0cm、体重：145.0kg



Seiko

後援会 法人会員の紹介

株式会社 清光

後援会発足当時からお世話になり、現在副会長である「株式会社 清光」の沼野嗣男社長にお話を伺いました。

(問)「株式会社 清光」はどのような会社ですか？

(答)扱い商品は厨房設備、オフィス関連備品、ノベルティ、介護用品など多岐にわたり、“百”貨店ならぬ“六十”貨店と自負しています。

(問)会社の歴史は？

(答)昭和49年の設立以来、始めはゴルフ場関連の物販を大手百貨店の外商と組んでやり、その後時代の状況に合わせてオフィス家具、厨房設備、ノベルティ景品へ、更には主に行政(目黒区役所)からの受注へと変化してきました。

(問)もえぎの会とのお付き合いはいつからですか？

(答)もえぎの会が法人の認可を受け、建物を新築した時からで、机、椅子などの備品を受注しました。クラフト部門で使っている大型のプレス機も当社が納めました。

(問)これからのもえぎの会に期待することは？

(答)若いスタッフには折にふれて外へ研修に出て貴重な体験を重ねて欲しい。ボランティアの組織化と保険の整備も必要だし、通常の製品に加えて季節限定品の更なる充実も期待したい。

企業人としての経験から建設的なご意見が次から次へと出て、予定の時間をオーバーする程でも有意義な時間となりました。



萌木

中国料理 『楽園菜館』

しいの実社からほど近い目黒通り沿い、鷹番にお店があります。先代から引き継がれて6年。若くてエネルギー溢れる若社長にお話を聞きました。広々とした店舗で、訪れたランチタイムは大盛況。鷹番小出身の社長さんは「つくし学級」の生徒とは自然にかかわりあっていて、「休み時間にはよく行き来して遊んでいたのが障害者に抵抗はまったくありません。よく声を出すからお店選びに悩むと聞きますが、うちのお店はお子さんもたくさん来ますし、従業員はもちろん、お客さんも理解してくれるので全く気にする必要ないですよと、とても気さくに話してくださいました。



上海料理をベースに四川、広東、北京料理も取り入れているという料理は素材にもかなり気を使い、ランチも夜も同じ素材を使っている。TV、雑誌にも多く取り上げられたが、その優しい話法や素振りからは想像がつかないが、頑固一徹で哲学的な一面も。一旦料理の話となると、顔が生き生きとし、熱がこもってきます。

障害者の就労に関しても、「中華料理は多岐にわたる手順があり、道具も重いが、不可能ではない。大切なのはやりたい、という気持ち。」と現実も踏まえた上で真摯に受け答えしてくださいました。



障害者にもお役に立てることがあればいつでも声をかけてください。と最後まで意欲的なお話ぶり。しいの実社が今の地に移って5年。地元の暖かな声援を感じました。

住所	目黒区鷹番1丁目2-6
電話	03-3793-2271
個室	個室(10名) お座敷(24名) 大部屋(70人)



和菓子 『清風堂』

和・洋菓子製造販売で、先代が昭和2年に創業、昭和32年からは現在の目黒本町で営業を始められたという長い歴史があります。ご多忙な社長に替わってお店を守る奥様にお話を伺いました。しいの実社に近く、洗足—渋谷間を走るバスの通りに面した目黒本町本店(兼工場)のほか大岡山(2店舗)、洗足、長原、戸越公園、久が原に計7店舗があり、上生菓子、カステラ、どら焼き等のほかアップルケーキ、クッキー、クリスマスケーキも扱っています。「自分の店でもクッキーを作っているけれど子供たちはしいの実社のクッキーも好きで時々買っています。おいしいですね。」との嬉しいお声もいただきました。

工場には2人の知的障害を持つ男性(60歳、58歳)が住み込みで働いており、1人は力仕事(砂糖、粉などの運搬)、1人は手作業(それも規則的な繰り返しで出来るもの)をこなしていて、安定した仕事ぶりの様子です。健康を考えて週3回は食事を提供したり、給料から毎月貯金をしてあげたり、と生活全般にわたって配慮なさっているとの事。「2人共まもなく定年を迎えるので、自分の貯金を少しでも沢山持って故郷の親族のところへ帰してあげたい」との言葉からも温かい肉親のような配慮が感じられました。

住所	目黒区目黒本町2-2-8
電話	: 03-3712-3320



グループホーム
沙羅の家より

「半年が経過して」



利用者の日常生活の一コマ

昨年9月に本格的に開所した沙羅の家ですが、早いもので半年が経過しました。ここまで大きなトラブルもなく、利用者の皆さんは落ち着いて生活することができています。家とは少し違った生活スタイルの人や、ほとんど変わらない人などさまざまですが、少しずつ新しい生活に慣れてきました。年末年始には利用者は10日間ほど自宅で過ごし、はじめて長期間沙羅の家を離れることになりましたが、年明けに戻ってきた時も大きな混乱なく、すぐにいつもの生活を始めることができ、適応力の高さに驚かされました。

また、もえぎの会として初めて立ち上げたグループホームということもあり、半年の間に見学者の方々も多数訪れました。訪れた方々は、グループホーム専用として新しく建てられたので、間取りや設備などが一般の家庭のそれとは異なっている（共同生活でありながらプライバシーが守られる点など）ことに関心を示されていたようです。

今後も安定した生活をサポートし続けられるよう、みんなで素敵な一周年を迎えられるように、これからの半年を過ごしていきたいと思えます。



利用者の誕生日のお祝いの一コマ

沙羅の家スタッフ 長谷 茂雄

後援会総会のお知らせ

後援会総会/懇親会を7月22日(日曜日)に開催する予定です。
詳細は改めてご連絡いたしますが、今から日程の確保をお願いいたします。

ボランティア募集のお知らせ

しいの実社では現在、作業のお手伝いや、製品の仕上げをしてくださる方を募集しています。

また、日中に行っているウォーキングや各種イベントの販売のお手伝い、土曜日開所での外出企画など各種のプログラムのお手伝いをしてくださる方もあわせて募集をしています。

お手伝い頂ける方、興味のある方はまず是非しいの実社にお越しください。

何かご不明な点・ご質問などありましたら担当 しいの実社 岡田までお願いいたします。

お友達、親類、お知り合いにぜひ もえぎの会の後援会をご紹介ください。
年会費 一口1,000円 個人会員 1口以上、法人会員 10口以上
会費はお手数ですが、直接もえぎの会にお持ちいただくか、
口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

編集後記

自立支援法が施行されての一年目があっという間に過ぎていきました。今年度も利用者の生活をより豊かにしていけるような支援を心がけて行こうと年度の頭に目標を立てながら、もえぎの第三号をお届けします。

発行:社会福祉法人もえぎの会
住所:目黒区目黒本町2-7-3(法人本部)
電話:03-5724-7153
E-mail shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

